

ベンゾエピン（エンドスルファン）に関する情報

1. 有効成分の名称

ベンゾエピン(エンドスルファン)

2. 農薬の種類

有機塩素系殺虫剤

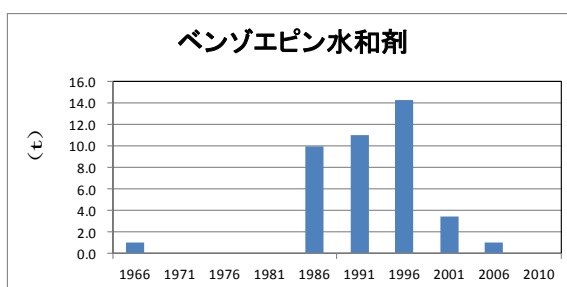
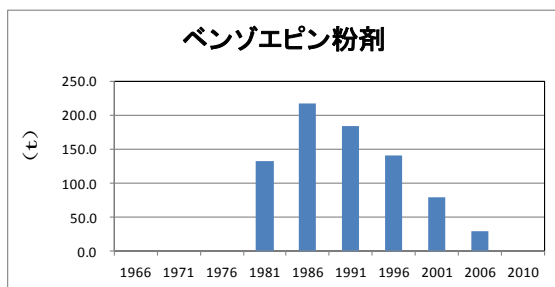
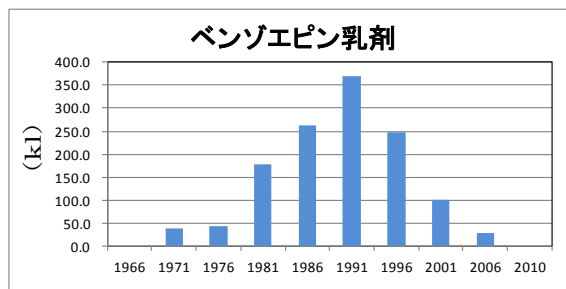
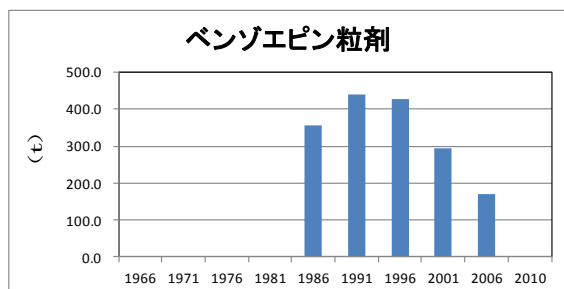
3. 商品の詳細情報

農薬の種類	農薬の名称	登録番号	登録日	失効日
ベンゾエピン 水和剤	チオダン水和剤	4465	昭和35年12月3日	昭和50年12月3日
		5457	昭和37年12月17日	昭和40年12月17日
	マリックス水和剤	14296	昭和55年5月20日	平成13年5月20日
	兼商マリックス水和剤	16036	昭和60年4月2日	平成21年4月2日
ベンゾエピン 乳剤	チオダン乳剤	4464	昭和35年12月3日	昭和50年12月3日
		5458	昭和37年12月17日	昭和40年12月17日
	チオダン乳剤35	12349	昭和47年5月4日	昭和59年6月17日
	ヘキスト・チオダン乳剤	15760	昭和59年5月9日	平成4年3月31日
	ヘキストチオダン乳剤	17893	平成3年8月16日	平成15年8月16日
	マリックス乳剤	8296	昭和42年6月1日	平成4年3月24日
		17894	平成3年8月16日	平成21年8月16日
ベンゾエピン・ DDVP乳剤	マリックスD乳剤	12889	昭和48年3月15日	昭和52年11月28日
	マックーD乳剤	13827	昭和52年11月28日	平成7年11月28日
ベンゾエピン・ NAC乳剤	チオポン乳剤	12225	昭和45年3月26日	昭和54年3月26日
ベンゾエピン・ NAC粉剤	チオポン粉剤	12228	昭和45年3月26日	昭和54年3月26日
ベンゾエピン 粒剤	マリックスベイト	14370	昭和55年9月29日	平成22年9月29日
	マリックス粒剤3	14369	昭和55年9月29日	平成22年9月29日
ダイアジノン・ ベンゾエピン 粒剤	ラズベン粒剤	17909	平成3年9月26日	平成15年9月26日
ベンゾエピン 粉剤	マリックス粉剤	11270	昭和45年12月19日	平成21年12月19日
	一農チオダン粉剤3	12203	昭和44年8月20日	昭和59年6月13日
	ヘキストチオダン粉剤	15759	昭和59年5月9日	平成11年5月9日

4. ベンゾエピン（エンドスルファン）を含む主な農薬の国内出荷量

平成3年頃に出荷量がピークとなっており、その後漸次減少。

平成21農薬年度以降の出荷実績はない。



(単位: t・kl)

農薬年度	農薬名	ベンゾエピン粉剤	ベンゾエピン粒剤	ベンゾエピン乳剤	ベンゾエピン水和剤
1966 (S41)		-	-	-	1.0
1971 (S46)		-	-	38.0	-
1976 (S51)		-	-	45.0	-
1981 (S56)		132.0	-	178.0	-
1986 (S61)		217.0	355.0	263.0	10.0
1991 (H3)		183.0	440.0	369.0	11.0
1996 (H8)		140.8	428.4	248.4	14.3
2001 (H13)		79.5	294.6	101.9	3.5
2002 (H14)		65.7	256.7	78.8	3.5
2003 (H15)		29.5	153.9	34.1	0.8
2004 (H16)		32.1	165.6	34.3	0.6
2005 (H17)		33.0	175.3	34.2	1.1
2006 (H18)		29.9	169.4	29.1	1.0
2007 (H19)		25.6	165.7	28.2	0.0
2008 (H20)		32.2	194.0	29.8	0.0
2009 (H21)		-	-	-	-
2010 (H22)		-	-	-	-

農薬年度: 前年10月～当該年9月

「-」: 出荷実績なし

5. 販売禁止にした日

平成24年4月1日に「農薬の販売の禁止を定める省令」に規定する物質に追加。

6. 販売禁止に至る経緯

平成23年4月に、「残留性有機汚染物質に関するストックホルム条約」(POPs条約)において、農薬用途に関連するエンドスルファンが本条約の規制対象物質に指定された。それに伴い、国内担保措置として、農薬の販売の禁止を定める省令に規定する物質に追加し、その販売及び使用を禁止した。

7. 回収の状況

平成22年11月より、農薬メーカーが自社販売網を通じて回収を開始。平成23年12月に、農林水産省は、農家等が保有しているベンゾエピン(エンドスルファン)を含む農薬について、農協や農薬販売店等を回収の拠点として、農薬メーカーによる回収を促進する仕組みを構築。現在、回収を進めている。